

人的資本経営研究会 第4回ワークショップの開催

開示トライアル
準備

開示トライアル
実施

振り返り
改善点検討

会員企業の皆様に、**開示レポート作成ができる状態**となってもらうことを目的として、主に開示レポート作成作業の詳細内容を実際の人的資本開示ツールを一部使用しながら説明した。

*人的資本経営とは、**人材を「資本」として捉え**、その価値を最大限に引き出すことで、**中長期的な企業価値向上につながる経営のあり方**のこと

概要

本研究会では、人的資本経営導入支援の一環かつ年間の大きな取組として、開示レポートの作成・開示を行う。

当該取組に至った経緯

- 広島県の就業者数や平均労働時間が減少していく長期的な流れの中で、県内企業にとっては、労働生産性の向上が重要な経営課題である。
- こうした背景があり、労働生産性、ひいては企業価値の向上に繋がる取り組みの一つとして人的資本経営導入支援を商工労働局人的資本経営促進課が中心となり支援している。[第3回ワークショップの活動記録](#)

第4回目ワークショップの内容

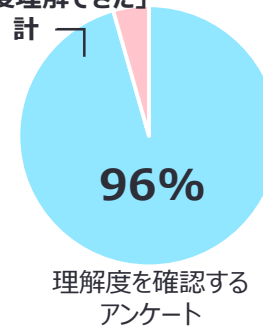
- ① **人的資本開示作業の進め方と人的資本開示ツール**の使い方**
開示レポート作成の詳細手順を実際の人的資本開示ツールを使用しながら説明。レポート作成自体も重要だが、レポート作成をする過程が大事であることを合わせて説明。
例) ・レポート作成をしながら自社の現状を可視化すること
・事業目標達成に必要な人事施策を思考すること 等
- ② **人的資本開示準備作業の進め方**
ワークショップ入会付近で新規入会した企業向けに、開示レポート作成準備作業の詳細手順を改めて説明。
- ③ **困り事や悩み事相談会**
開示レポート作成着手にあたり、困り事や悩み事がある企業向けに個別の相談会を実施。

**研究会参加企業の意見を聴取しながら、研究会事務局が作成を予定している人的資本情報の取りまとめや開示等をサポートするツール

取組の成果

- ・ 大多数の参加者の方にワークショップ内容を理解いただいた。
- ・ 「あまり理解できなかった」と回答したのは、直近で入会された企業であり、相談会等で引き続きフォローを実施した。
- ・ レポート作成の具体的な手順だけでなく、その手順を踏むと何が良いのかといった本質的な内容も合わせて、説明した。

「よく理解できた」
「ある程度理解できた」
計



ワークショップの様子



55社 76名が参加
(現地とオンライン合計)

今後の予定

- ・ 会員企業は人的資本開示ツールを用い、2月までに開示レポートの作成に取り組む。
- ・ 次回のワークショップ（3月7日予定）では、研究会運営委員会、委員長である伊藤邦雄氏を交え、開示レポート作成結果の共有や次年度に向けて人的資本開示ツールの改善点を洗い出す。